



住所 〒276-8524 千葉県八千代市大和田新田477-96

TEL 047-450-6000

● 病院の概要



【病院の特徴】

東京女子医科大学八千代医療センターは救急医療、周産期・小児医療、高齢者医療ならびに地域連携を特色とする21世紀型大学病院です。救急医療では徒歩来院患者も受け入れる北米型ERシステムを採用しています。

1. 八千代市と周辺地域における急性期医療
2. 救急車年間 4,200台受入れ
3. トリアージ機能を備えた北米ER型小児救急
4. 外科手術 3,000件/年
5. 千葉県総合周産期母子医療センター（県内で3施設）の併設
6. 日本で30番目の小児総合医療施設、千葉県初の小児救命救急センター
7. すべての内科専門医が指導
8. 医師会、周辺医療機関と連携した地域医療支援病院
9. 診療科の垣根を越えた横断的チーム医療が特徴
10. 最先端機器を駆使した高度医療の実践

【プログラム責任者・指導医からのメッセージ】

救命・救急と周産期・小児医療に特に強みを有する、地域に根ざしたハイブリッド型の大学病院です。あいさつを大切にすする明るい職場、診療科の垣根が低く気軽に相談できます。ぜひ見学にお越しください。

【先輩研修医からのメッセージ】

東京女子医科大学八千代医療センターは、病床数500床の八千代市の中核をなす病院です。市中病院と大学病院、双方の特徴を兼ね備えており、初期研修においては、救急の初期診療に加え、各疾患においても専門性の高い医療を学ぶことができます。

また、当院の魅力としては、コメディカルの方々との距離が近いことが挙げられます。様々な職種の方と、医療に携わり、患者さんにとって最善の医療を提供する、そんなチーム医療を一緒に体感しませんか。ぜひ一度見学にお越しください。お待ちしております。

病床数	一般 … 500 床	療養 … 0 床	結核 … 0 床	精神 … 0 床	感染 … 0 床
1日平均外来患者数	665 人	医師数(常勤)	166 人		
1日平均入院患者数	252 人	指導医数(再掲)	46 人		

● 妊娠・出産・子育て中の勤務環境

■ 妊娠・出産	■ 育児	■ 子育て
当直免除 <input type="radio"/> 時間外勤務免除 <input type="radio"/> 短時間勤務制度 <input type="radio"/>	当直免除 <input type="radio"/> 時間外勤務免除 <input type="radio"/> 短時間勤務制度 <input type="radio"/>	院内保育園 <input type="radio"/> 院内学童保育 <input type="radio"/>

【※】は「診療科による」等の条件あり、「-」は制度なし

● 臨床研修

■ 2024年度研修受入数	1年目 11 名	2年目 8 名
■ 処遇 ①基本給 (2024年度)	1年目 230,000 円/月	2年目 240,000 円/月
②賞与・手当	日当直手当あり	
③当直	回数 3 回/月	当直料 10,000 円/月
④休暇	有給休暇、夏季休暇、年末年始休暇あり	
⑤保険適用	健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険	
⑥宿舎	単身用、光熱費のみ負担	
■ 出願期間(予定)	2025年6月	～ 2025年8月

● 専門研修

■ 基幹となっている基本領域	内科 <input type="radio"/> 小児 <input type="radio"/> 皮膚 <input type="radio"/> 精神 <input type="radio"/> 外科 <input type="radio"/> 整形 <input type="radio"/> 産婦 <input type="radio"/>
	眼科 <input type="radio"/> 耳鼻 <input type="radio"/> 泌尿 <input type="radio"/> 脳外 <input type="radio"/> 放射 <input type="radio"/> 麻酔 <input type="radio"/> 病理 <input type="radio"/>
	臨検 <input type="radio"/> 救急 <input type="radio"/> 形成 <input type="radio"/> リハ <input type="radio"/> 総診 <input type="radio"/>
■ 処遇 ①給与モデル(5年目参考・当直料等込) (2024年度)	約 400,000 円/月
②休日休暇	有給休暇、夏季休暇、年末年始休暇あり
③保険適用	健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険
④宿舎	なし
■ 連携・関連施設となっている基本領域	内科 <input type="radio"/> 小児 <input type="radio"/> 皮膚 <input type="radio"/> 精神 <input type="radio"/> 外科 <input type="radio"/> 整形 <input type="radio"/> 産婦 <input type="radio"/>
	眼科 <input type="radio"/> 耳鼻 <input type="radio"/> 泌尿 <input type="radio"/> 脳外 <input type="radio"/> 放射 <input type="radio"/> 麻酔 <input type="radio"/> 病理 <input type="radio"/>
	臨検 <input type="radio"/> 救急 <input type="radio"/> 形成 <input type="radio"/> リハ <input type="radio"/> 総診 <input type="radio"/>

【臨床研修の特徴】

プライマリ・ケア、救命救急医療を基盤とし、診療科を超えた横断的連携による研修環境を生かした総合臨床研修です。

2022年度より小児科プログラム(小児科6ヶ月)・産婦人科プログラム(産婦人科6ヶ月)を開始しています。

◆ 基本ローテーション

1年次研修科目: 必修科目である内科24週以上、麻酔科8週以上、外科8週以上、救急8週以上を原則としています。

2年次研修科目: 必修科目である産婦人科4週以上、地域医療4週以上、小児科8週以上、精神科4週以上、残りの28週を選択科目としています。

【専門研修の特徴】

多様な出身大学、初期研修病院を経たメンバーがチーム医療を行っています。医療安全を重視した診療体制をしいており、安心して研修を受けることができます。各診療科の垣根が低く、横のつながりが強いことも特徴です。

母体胎児科(産科・新生児科)は千葉県の総合周産期母子医療センターの一つであり、多数のハイリスク妊娠・分娩・新生児医療を経験できます。また婦人科も悪性疾患を含めあらゆる疾患の治療に対応しています。小児科は日本小児総合医療施設(全国で39施設)、千葉県唯一の小児救命救急センターに認定され、小児系病床数は121床(NICU/GCU 37, PICU 6)と県内総合病院中最大です。外科プログラムは、専門性と地域医療性を兼ね備えた外科専門研修施設群を11施設と構成しています。